



2024年3月5日

各位

会社名 住友化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩田 圭一
(コード番号 4005 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 小林 俊二
(TEL. 03-5201-0200)

当社子会社の米国連結子会社における
人員削減等の合理化に関するお知らせ

当社子会社の住友ファーマ株式会社（コード番号：4506、本社：大阪市、代表者：代表取締役社長 野村 博、事業内容：医療用医薬品の製造・販売、資本金：224億円）は、同社の米国連結子会社について別添資料のとおり決定しましたので、お知らせします。

以上



2024年3月4日

各位

会社名 住友ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 博
(コード:4506 プライム市場)
問合せ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション担当 野口 直記
<https://contact.sumitomo-pharma.co.jp/form/pub/inquiry/jp>

米国連結子会社における人員削減等の合理化に関するお知らせ

当社は、足下の厳しい経営環境を重く受け止め、当社グループの業績回復を果たすため、本日(2024年3月4日)、下記のとおり、当社の米国連結子会社である Sumitomo Pharma America, Inc.(以下「SMPA社」)における人員削減等の合理化を行うことを決定しましたので、お知らせします。

記

1. 人員削減等の合理化を行う理由

当社は、今後の収益構造改善のために経営および組織の効率化を図る一環として、米国におけるオペレーションの一層の合理化を目指して、SMPA社の組織再編を実行することを決定し、以下に示す内容でSMPA社における人員削減を実施します。

当社は2023年7月に米国グループ会社の再編と共に約500人の人員削減を行いました。中期経営計画2027(2023~2027年度)での業績見通しに対して基幹3製品(進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「マイフェンブリー」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」)の売上収益の伸びが想定を下回っており、北米において更なる効率的な組織運営をしていく必要があると判断しました。

2. 合理化の内容

北米事業におけるリーンの組織への再編と人員適正化を行うことを目的に、2024年3月中に、全体で約400人の合理化を行います。営業部門においては、引き続き基幹3製品の売上収益を拡大させていくために最適な組織体制とします。

3. 業績に与える影響

本件に伴い2024年3月期決算にて事業構造改善費用を計上する予定ですが、現時点では退職金総額等は未確定です。本件による費用を含めて2024年3月期通期連結業績予想に与える影響については現在精査中であり、判明次第、お知らせします。また、本件による2025年3月期の人件費および経費の削減額は現在精査中であり、5月14日に公表予定の決算発表において開示する予定です。

4. SMPA社の概要

| | |
|-----------|--|
| 名 称 | Sumitomo Pharma America, Inc. |
| 本 社 所 在 地 | 米国マサチューセッツ州ケンブリッジ |
| 代表者の役職・氏名 | President and Chief Executive Officer: Myrtle Potter |
| 事 業 内 容 | 医療用医薬品の製造、販売 |
| 資 本 金 | 0.01 米ドル |

以上